

令和7年度



園 だ よ り 12月号

杉並区立下高井戸子供園

きょういくもくひょう

教育目標

こどもえん

“しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるころとあたま

よく遊ぶ子ども＝よく学ぶ子ども

園長 原 麻弓

11月14日（金）に研究発表会を行いました。開催にあたり、保護者の皆様には、写真撮影・使用の承諾、保育時間の変更等たくさんのご協力をいただきました。何より、当日、元気に子どもたちを登園させてくださったことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

研究発表会当日は、就学前教育に携わるたくさんの方が来園し、下高井戸子供園の保育場面を通して学びを深めました。

講師である淑徳大学教授 槇英子先生からは、「下高井戸子供園の子どもたちは、よく遊んでいる。」とのお言葉をいただきました。

「よく遊ぶ」ということは、「よく学ぶ」ということです。

文部科学省では、「遊びは学び 学びは遊び “やってみたい” が学びの芽」というフレーズで、就学前教育での遊びの大切さをうたっています。

以下のリンクから、文部科学省ホームページにある幼児の学びについての動画（約2分）を閲覧することができます↓↓

幼児教育は何のため？（約2分）

<https://youtu.be/MExUaZ6M3G0>

幼児期の大切な学びが分かる動画

幼児期は、短時間に決められた正解をたくさん出せることが大事なのではありません。

先の見えにくいこれからの世の中をしなやかにたくましく生きていくために、答えのない課題にも粘り強く考え行動する力、他者との対話でみんなが納得する答えを見出す力を身に付けていくことが大切です。

そのために、子供園で子どもたちは全力で遊びます！！

自分で考え、自分でつくり、自分で進めていく遊びです。もっと楽しくなるように、友達や先生のアイデアにも耳を傾け、「それもいいな。」と受け入れながら、自分自身をよりよくしていこうとすることが、遊びの中の学びです。

12月6日（土）には4歳児、5歳児で劇表現を主とした下高劇場を予定しています。

セリフの決まった劇ではありません。発する言葉も動きも、そして衣装も小道具も大道具も、すべて子どもたちの手作りです。

普段の子どもたちの遊びの中の学びが保護者の皆様にも伝わると幸いです。

感染症が猛威を振るっております。皆様も十分に気を付けてお過ごしください。

【12月の保育】

年少うさぎ組

登園時は少し肌寒くても、園庭に陽がさすと暖かさを感じて、外で元気に遊んでいます。「ファイト！」と言いながらマラソンをしたり先生や友達と鬼遊びをしたりして、体を動かす楽しさを感じています。

室内では近くにいる友達が身に付けているものや、持っているものに関心を示し、自分も同じようなものをつかって一緒に遊びたいな！という思いが感じられます。

今月は、一人1個の手回しコマで遊びます。回し方のコツをつかみ、「やってみたら楽しかった！」「もっとやってみよう」という気持ちをたくさん味わえるようにしていきます。また冬の飾り作りでは、絵の具や糊などを使い、「自分でできた」という楽しさを感じられるようにしていきます。

年末に向けて、今まで使った遊具や自分のロッカーなどを自分たちで掃除して、新しい年を迎える準備をしています。

年長ぞう組

6日（土）の下高劇場に向けて、物語を考えたり、役になって動く中で自分らしい表現をやってみたりして劇ごっこを楽しんでいます。友達と力を合わせて衣装や大道具をつくり、友達のアイデアを受けて自分の考えや思いを伝え合ったりして、下高劇場という一つの大きな目的に向かって力を発揮していきます。“自分たちで劇をつくる”充実感を味わえるようにし、一人一人の自信と学級としてのつながりを深めます。

投げゴマや竹馬など少し難しいと感じることに繰り返し挑戦し、できるようになる嬉しさや達成感を味わえるようにしていきます。また冬の飾り作りでは、自分なりに工夫することやできあがりまでの見通しをもって進めていく経験も大切にしていきます。

寒さに負けず、戸外でドッジボールや鬼ごっこをして遊び、自分たちでルールをつくり変えたりしながら、友達と一緒に体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

年中くま組

園庭では、鬼ごっこやしっぽ取り、長縄など体を動かす遊びを楽しんでいます。「初めてしっぽが取れた！」「縄を10回跳べるようになったよ！」「やってみたら楽しかった！」と言葉が聞こえてきます。“できた”“楽しかった”という思いが、また次への意欲につながっています。

今月は、糸引きゴマや短縄にも挑戦し、やってみようとする気持ちや頑張ろうとする気持ちを支えています。

6日（土）には下高劇場があります。みんなが知っている絵本の世界の中で、なりきって動いたり、簡単な言葉でのやり取りをしたりして楽しんでいます。遊びの中での子どもたちの表現（歌や言葉、楽しんできたことなど）を劇の中に取り入れ、自分なりになりきって動くことや、くま組のみんなと一緒に劇をすることを楽しめるようにしていきます。

